

【※発文発出時点での企画書となりますので、今後変更等が発生します。】

## 第39回全国保育集会〈2日目〉 分科会

7月28日(土)〈2日目〉

開始 9時30分～16時30分予定

場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)

内容 各会場に分かれての分科会

No.	テーマ	内容と講師 担当
1	子どもの人権を大切に する保育を考えよう	ページのめくり方、間のとり方、子ども達ひとりひとりの声やつぶやきを受け止め共感しながら子どもを主体とした絵本の届け方(読み聞かせ)を体感しながら考えていきましょう。 <講師> 絵本あれこれ研究家 加藤 啓子さん 【大阪府本部】〇〇〇〇 【自治労本部】山本・藤田
2	保育の質の向上	保育の質の向上は、保育の量の拡大とともに、子ども・子育て支援新制度の目的の柱とされています。また、保育所保育指針において、保育の質の向上が特に協調されているのは言うまでもありません。一方、保育の質が求められる保育現場に目を向ければ、日々の保育ならびに保護者支援、すすむ非正規職員化などにより、肉体的にも精神的にも多忙を極めています。年々増大する保育士業務のなかで、いかに保育の質を向上させるかが大きな課題と言えます。保育の「振り返り」「職員相互の話し合い」「自己評価」「園内の体制」をキーワードに実践を話し合い、保育の質の向上について学び合しましょう。 <講師> 調整中 【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】徳田・橋口
3	保護者との連携	保護者との信頼関係が保育には大切なことですが、保護者の思いと自分の思いがうまく重ならない時には、お互いの気持ちが離れてしまい保育もうまくいかないものです。私たちは何を大切にして保育を行えばいいのか、みんなで事例を出し合いながら保護者との連携について学び合しましょう。 <講師> 子ども情報センター 理事 田中 文子さん 【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】五十嵐・倉町
4	障害児保育、サポート が必要な子どもへの支援	教育・保育現場には、様々な子どもがいます。そんな中で、「気になる子ども」、「サポートが必要な子ども」への支援に悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。子どもの困り感や支援の方法、実践例を学び、今後の保育に役立てていきたいと思います。情報交換を行いながら、より良い支援について考えていきましょう。 <講師> 三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 地域支援課 主査 渡辺 一政 さん(予定) 【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】大西・平野
5	認定子ども園	認定こども園は、幼児教育・保育の提供と保護者への子育て支援を総合的に行う施設として位置づけられています。子ども・子育て新制度の中核施設として、認定こども園へ移行する保育所や幼稚園は年々増加している状況です。認定こども園に移行していく中で、現場では、保

【※発文発出時点での企画書となりますので、今後変更等が発生します。】

		<p>育内容、保護者のニーズ、職場環境、免許更新等多くの課題があります。すべての子どもに同じ教育・保育を提供できるために全国で取り組みを進めている事例に学び、課題に対してどのように取り組みを進めていくかを議論します。</p> <p>&lt;講師&gt; 内閣府 子ども・子育て本部 参事官（認定こども園担当） 安田 伸さん</p>	<p>【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】本田・峯</p>
6	<p>災害時におけるアレルギー児の食 ～調理師の私たちができることを考えよう～</p>	<p>アレルギー対応食、炊き出し等での誤食やアレルギー食材の混入防止のための知識、災害時に調理担当者が気をつけなければならないこと等を具体的に学びます。アレルギーの症状や普段からの備え、柔軟で的確な対応ができるように正しい知識を身につけ、食の専門性を高めます。また、災害時に地域との連携を取る上で子どもたちのケアを図れるよう、不安や問題を抱える子どもたちへ食を通してどのように接していくかを学ぶとともに、地域への発信をどう進めていくか考えていきます。</p> <p>&lt;講師&gt; 相愛大学人間発達学部発達栄養学科 准教授 竹山 育子さん NPO法人 FAIRROAD 副理事長 栗本 正則さん</p>	<p>【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】川越</p>
7	<p>放課後児童クラブ（学童保育）・児童館～ 気になる子どもとの関わり方について～</p>	<p>放課後児童クラブ（学童保育）や児童館で子ども達と関わる中、子ども達の発達への理解が必要です。中でも、支援を必要とする子どもや、気になる子どもへの対応が求められています。分科会を通して、現場で働く者としてどのような知識や理解が必要なのかをみなさんと共有し、議論することで支援の具体的な方策を学んでいきましょう。</p> <p>&lt;講師&gt; 未定</p>	<p>【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】本橋・半田</p>
8	<p>「会計年度職員制度」 について学び処遇改善 と人材確保につなげよう</p>	<p>保育労働者の処遇改善を進めることが質の高い保育サービスの提供・人材確保につながります。全国の自治体で働く臨時・非常勤等職員の任用のあり方として新たに「会計年度任用職員制度」が2020年4月からスタートします。この制度を理解し、正規・非正規ともに処遇改善をめざし、組織拡大につなげていきましょう。</p> <p>&lt;講師&gt; 自治労本部 総合労働局 労働条件局長 榎本 朋子さん</p>	<p>【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】境・駕谷</p>
9	<p>これからの保育を考える</p>	<p>子ども・子育て支援新制度の施行後3年が経過、2017年には、「子育て安心プラン」や「幼児教育・保育無償化」などの施策が出され、現在実施・検討されています。現状では、保育の質の改善より量の拡充が優先されている感があります。保育士の確保が質の確保には絶対必要です。保育分野の現状と取り組みについて講演を受け、本部保育部会と厚労省との意見交換について報告を行います。各地で工夫して取り組んでいる人材確保・質の向上・処遇改善等の実践交流・意見交換を実施し、「これからの保育」に対しての意見集約を図ります。</p> <p>&lt;講師&gt; 厚生労働省 こども家庭局 保育課長 巽 慎一さん（予定）</p>	<p>【大阪府本部】〇〇・〇〇 【自治労本部】前原・佐保</p>